

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-213	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
50・大修館	保体・702	新高等保健体育		

1 編修の基本方針

- 保健体育の学習を通して、**生涯にわたって心身の健康を保持・増進し豊かなスポーツライフを継続**するための基礎的・基本的な知識と技能の習得を目指し、**質量ともに教科書の充実**を図り、記述内容はもとより、コラムや学習課題を設けるなど、教科書全般にわたって配慮しました。
- **実生活に役立つ内容**や高校生に関心の高い内容を積極的に取り上げることで、学習内容を自分に引き寄せて思考することができるよう、教科書全般にわたって配慮しました。
- **主体的に学習する姿勢や自ら思考・判断・表現**する能力が身につくよう、学習のねらいや課題の設定、図表の示し方などを工夫しました。
- **学んだ知識・技能を実生活で生かす**ことができるよう、学んだことを整理する課題や学んだ内容と社会とのつながりが見える特設ページを設けました。
- 各章末に「まとめ」のページを設け、**課題解決学習**を行うことができるよう工夫しました。
- **ヘルスプロモーション**の考え方を生かし、個人の健康を支える環境づくりに自らも**社会の一員として主体的に参加**できるよう、保健編の内容全般にわたって配慮しました。
- 自他の健康に関して、未知の状況に遭遇しても学んだ知識・技能を活用し、課題の解決に向けて様々な**健康情報**を収集・選択・判断・活用して対応できる**思考力・判断力・表現力の育成**を目指し、記述内容や図表、課題や特設ページを設けました。
- 運動・スポーツに必要な知識を技能と関連させながら考えることができるよう、また、学習内容が実生活における**豊かなスポーツライフの形成**につながるよう配慮しました。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
保健編 第1章 現代社会と健康	● 健康を保持・増進するための環境づくりに対して個人の主体的な関わりが重要であることを取り上げました（第3号）。	16～17 ページ

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
保健編 第1章 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康の保持・増進のためには、健康に関する個人の適切な意思決定・行動選択が関わっていることを取り上げました（第2号）。 ● 生活習慣病の予防のためには、適切な運動や食事、休養および睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが重要であることを取り上げました（第2号）。 ● 喫煙や飲酒、薬物乱用は本人のみならず、周囲の人の健康や社会にも影響を与えることを取り上げました（第3号）。 ● 喫煙や飲酒による健康問題の防止や、薬物乱用の防止のためには、健全な価値観や規範意識の育成が重要であることを取り上げました（第1号）。 ● 精神疾患は、誰もが罹患する可能性のある身近な疾患であり、特に思春期に起こりやすいことを取り上げました（第1号）。 ● 心の不調や精神疾患からの回復には、自分だけで悩まず助けを求めることが大切であることとともに、周囲からの声かけが重要であることを取り上げました（第3号）。 	<p>20～21 ページ</p> <p>32～37, 40～41 ページ</p> <p>46～47, 50～53 ページ</p> <p>46～47, 50～53 ページ</p> <p>54～55 ページ</p> <p>56～57 ページ</p>
保健編 第2章 安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 二輪車・自動車の運転時に必要な生命を尊重する態度について取り上げました（第4号）。 ● 安全な社会づくりのために、特に支援が必要な人に対する高校生の主体的な取り組みについて取り上げました（第3号）。 ● けがや急病の際の応急手当が生命を救うことについて取り上げました（第4号）。 	<p>64～65 ページ</p> <p>66～67 ページ</p> <p>70～79 ページ</p>
保健編 第3章 生涯を通じる健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 思春期の自立しようとする気持ちについて取り上げました（第2号）。 ● 異性の心と体をよく理解し、相手の気持ちを尊重することの重要性について取り上げました（第3号）。 ● 結婚生活と家族の健康に対する責任について取り上げました（第3号）。 ● 妊娠・出産において、生まれてくる子どもに対する親としての責任について取り上げました（第3号）。 ● 日本では、高齢者の暮らしや健康を社会全体で支え合う仕組みとして、介護保険制度が整えられていることを取り上げました（第3号）。 ● 働くことの意義、働くことと健康との関連について取り上げました（第2号）。 	<p>83 ページ</p> <p>86～87 ページ</p> <p>88～89 ページ</p> <p>91 ページ</p> <p>97 ページ</p> <p>100～105 ページ</p>

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
保健編 第4章 健康を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の汚染が健康に影響を及ぼすことがあることを取り上げました（第4号）。 ● 環境保全のために個人と社会が果たす役割について取り上げました（第4号）。 ● 食品の安全を守るために、生産者、製造者、消費者が果たす役割について取り上げました（第3号）。 ● 保健・医療サービスの活用について取り上げました（第3号）。 ● 日本国内や世界で行われている様々な保健活動や対策について取り上げました（第5号）。 ● 健康に関する環境づくりに積極的に参加していくことが必要であることを取り上げました（第3号）。 	110～113 ページ 114～117 ページ 122～123 ページ 126～129 ページ 134～135 ページ 136～137 ページ
体育編 第1章 スポーツの発祥と発展	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツの文化的価値について取り上げました（第1号）。 ● 日本生まれのスポーツがあることを取り上げました（第5号）。 ● オリンピックが世界平和の促進に大きな役割を果たしていることを取り上げました（第5号）。 ● パラリンピックが共生社会の実現に大きな役割を果たしていることを取り上げました（第3号）。 ● スポーツに求められる高潔さについて取り上げました（第3号）。 ● アンチ・ドーピング運動について取り上げました（第4号）。 ● スポーツにおける環境破壊、環境保護について取り上げました（第4号）。 	148～149 ページ 150ページ 152～153 ページ 153 ページ 158～159 ページ 160～161 ページ 162～163 ページ
体育編 第2章 運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> ● 体の動きはどのような仕組みで開始され、持続していくのかという効果的な動きのメカニズムについて取り上げました（第1号）。 ● 体カトレーニングの考え方および実践方法を取り上げました（第1号）。 ● 運動やスポーツによるけがを取り上げ、どのように注意すべきかを紹介しました（第4号）。 	176～177 ページ 180～183 ページ 186～189 ページ
体育編 第3章 豊かなスポーツライフの設計	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方があることについて取り上げました（第2号）。 ● スポーツに関わる様々な職種があることを取り上げました（第2号）。 ● 自分でスポーツライフを設計する課題を設けました（第2号）。 ● わが国や世界各国で行われている、様々なスポーツ推進について取り上げました（第5号）。 	192～193 ページ 195 ページ 199 ページ 200～203 ページ

- 教科書全体を通じて、中学校での学習内容を踏まえ、より学習が深められるよう、記述内容、掲載する資料、課題等について配慮しました（学校教育法第51条1号）。
- 教科書全体を通じて、本文および側注や図表等によってわかりやすい記述、解説を加えることにより、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現するために必要な教養を高め、専門的な知識を習得できるよう配慮しました（学校教育法第51条2号）。
- 保健編全体を通じて、自分の健康のみならず、身近な家族や友人、そして社会全体の健康へと、より広い視野から健康について思考することができるよう配慮しました（学校教育法第51条1号）。
- 保健編全体を通じて、健康に関して様々な視点から考えたり、より深く探求したりすることができるよう、学習指導要領では扱われていない発展的な内容についても、身近な事象をテーマとしながら積極的に取り上げました（学校教育法第51条2号）。
- 保健編全体を通じて、様々な健康課題についてその解決のためには人々の健康を支える環境づくりが重要であることを考えさせるなど、健康な社会づくりの担い手を育むように配慮しました（学校教育法第51条3号）。
- 保健編全体を通じて、生涯にわたって健康を保持・増進するためには、必要な情報を入手し、理解・判断して活用することが重要であること、また入手した情報については科学的根拠に基づき批判的に吟味する必要があることについて触れるよう、課題や特設ページを設けるなど配慮しました。（学校教育法第51条3号）。
- 目的に応じた様々な体力の高め方を取り上げました（180～183ページ）。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-213	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
50・大修館	保体・702	新高等保健体育		

編修上特に意を用いた点や特色

- 各項目の冒頭に「**学習のねらい**」を設け、その項目を学んだ結果として到達すべき目標を簡潔かつ具体的に示すことにより、学習者が目標を意識した上で主体的に学習に臨めるよう工夫しました。
- キーワードを太字で示し、重要な事項を把握しやすいよう配慮しました。
- 脇の余白に、必要に応じて補足説明を設け、より深い理解を促すよう配慮しました。
- 図表等の下に補足説明を設け、資料を適切に取り組み、理解することができるよう配慮しました。
- 適宜「**Column (コラム)**」を設け、その項目の学習内容の理解を助けるための具体的な事例や、より深く学ぶための情報を盛り込むことで、学習者の興味・関心を広げる足がかりとなるよう配慮しました。
- 本文に示された内容についてさらに掘り下げるために、関連する情報を学習者自身が主体的に調べる課題（「**調べてみよう**」）を各項目に設けました。
- 「調べてみよう」の課題に取り組む際の参考となるウェブサイト（「**調べてみよう参考リンク集**」）につながるQRコードを、各章の扉に掲載しました。
- 学んだ内容を振り返って整理したり、グループで議論し発表するなどしてさらに深めたりする課題（「**考えてみよう**」）を各項目末に設けました。
- 学んだ知識・技能などを活用したり、確実に身につけられるようにしたりするための**実習課題**（「心肺蘇生法を実習しよう」など）を設けました。
- 各章の学習のまとめ・振り返りとして、学んだ内容を踏まえた課題解決学習を行うための「**章のまとめ**」のページを設けました。
- **対話的な学習**を促すために、巻頭に具体的な学習方法を例として示しました。
- 学習者にとって難解な用語や、学習者の理解を深めるためにより詳しい説明が必要だと思われる用語については、保健編・体育編の編末に「**用語解説**」を設けました。

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	
保健編 第1章 現代社会 と健康	1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ヘルスプロモーションと健康に 関わる環境づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択	内容 (1) ア (ア) , 内容 (1) イ	12~17, 20~21 ページ	5	
	5 現代における感染症の問題 6 感染症の予防 7 性感染症・エイズとその予防	内容 (1) ア (イ) , 内容 (1) イ	24~29 ページ	4	
	8 生活習慣病の予防と回復 9 身体活動・運動と健康 10 食事と健康 11 休養・睡眠と健康 12 がんの予防と回復	内容 (1) ア (ウ) , 内容 (1) イ, 内容の取扱い (1) , 内容の取扱い (2)	32~37, 40~43 ページ	7	
	13 喫煙と健康 14 飲酒と健康 15 薬物乱用と健康	内容 (1) ア (エ) , 内容 (1) イ, 内容の取扱い (3)	46~47, 50~53 ページ	5	
	16 精神疾患の特徴 17 精神疾患への対応	内容 (1) ア (オ) , 内容の取扱い (4)	54~57 ページ	4	
	第1章のまとめ	内容 (1) イ	60 ページ	1	
	保健編 第2章 安全な 社会生活	1 事故の現状と発生要因 2 交通事故防止の取り組み 3 安全な社会の形成	内容 (2) ア (ア) , 内容 (2) イ, 内容の取扱い (5)	62~67 ページ	4
		4 応急手当の意義と救急医療体制 5 心肺蘇生法 6 日常的な応急手当 ●いざという時に備えて、知識と技術を身につけよう	内容 (2) ア (イ) , 内容 (2) イ, 内容の取扱い (6)	70~79 ページ	4
		第2章のまとめ	内容 (2) イ	80 ページ	1
		保健編 第3章 生涯を 通じる 健康	1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画 6 加齢と健康 7 高齢社会に対応した取り組み	内容 (3) ア (ア) , 内容 (3) イ, 内容の取扱い (7)	82~83, 86~97 ページ

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
保健編 第3章 生涯を通じる健康	8 働くことと健康 9 労働災害の防止 10 働く人の健康づくり	内容 (3) ア (イ) , 内容 (3) イ	100～105 ページ	6
	第3章のまとめ	内容 (3) イ	108 ページ	1
保健編 第4章 健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害を防ぐための環境対策 4 環境衛生に関わる活動	内容 (4) ア (ア) , 内容 (4) イ, 内容の取扱い (8)	110～117 ページ	5
	5 食品の安全性と健康 6 食品の安全性を確保する取り組み	内容 (4) ア (イ) , 内容 (4) イ, 内容の取扱い (1)	120～123 ページ	3
	7 保健制度とその活用 8 医療制度とその活用 9 医薬品の制度とその活用	内容 (4) ア (ウ) , 内容 (4) イ, 内容の取扱い (2)	126～131 ページ	5
	10 様々な保健活動や対策	内容 (4) ア (エ) , 内容 (4) イ	134～135 ページ	1
	11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	内容 (4) ア (オ) , 内容 (4) イ	136～137 ページ	1
	第4章のまとめ	内容 (4) イ	138 ページ	1
	体育編 第1章 スポーツの発祥と発展	1 スポーツの発祥と成立	内容 H 体育理論 (1) ア (ア) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	144～145 ページ
2 スポーツ文化の発展と現代社会 ●わが国発祥のスポーツについて考えよう ●競技スポーツにおける競争・協力		内容 H 体育理論 (1) ア (ア) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	148～151 ページ	1
3 オリンピック・パラリンピックと国際社会		内容 H 体育理論 (1) ア (イ) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	152～153 ページ	1
4 スポーツの経済効果とスポーツ産業		内容 H 体育理論 (1) ア (ウ) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	156～157 ページ	1

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
体育編 第1章 スポーツの発祥と発展	5 スポーツに求められる高潔さ ●アンチ・ドーピングについて考えてみよう	内容 H 体育理論 (1) ア(イ), 内容 H 体育理論 (1) ア(ウ) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	158～161 ページ	1
	6 持続可能性から見たスポーツと環境 第1章のまとめ	内容 H 体育理論 (1) ア(エ) 内容 H 体育理論 (1) イ 内容 H 体育理論 (1) ウ	162～164 ページ	1
体育編 第2章 運動・スポーツの学び方	1 スポーツにおける技術と戦術・戦略 ●スポーツルールの変容と技術 ●技術・戦術とメディアの影響	内容 H 体育理論 (2) ア(イ) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	166～169 ページ	1
	2 スポーツにおける技能と体力	内容 H 体育理論 (2) ア(ア) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	170～171 ページ	1
	3 技能の上達過程と練習の考え方	内容 H 体育理論 (2) ア(ウ) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	172～173 ページ	1
	4 効果的な動きのメカニズム	内容 H 体育理論 (2) ア(ア) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	176～177 ページ	1
	5 体力トレーニング ●体力トレーニングの効果の評価 ●健康づくりのためのエクササイズ	内容 H 体育理論 (2) ア(ア) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	180～185 ページ	1

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
体育編 第2章 運動・ス ポーツの 学び方	6 運動やスポーツでの危険予知と 安全確保 ●スポーツ外傷・障害の実際 第2章のまとめ	内容 H 体育理論 (2) ア(ア), 内容 H 体育理論 (2) ア(エ) 内容 H 体育理論 (2) イ 内容 H 体育理論 (2) ウ	186～190 ページ	1
	体育編 第3章 豊かなス ポーツラ イフの設 計	1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルとスポーツの 楽しみ方 ●スポーツボランティアについて 調べてみよう ●自分のスポーツライフを設計して みよう	内容 H 体育理論 (3) ア(ア) 内容 H 体育理論 (3) イ 内容 H 体育理論 (3) ウ	192～193 ページ
	3 スポーツ推進のための施策と課題	内容 H 体育理論 (3) ア(ウ) 内容 H 体育理論 (3) イ 内容 H 体育理論 (3) ウ	200～201 ページ	1
	4 スポーツで「未来」を創る	内容 H 体育理論 (3) ア(エ) 内容 H 体育理論 (3) イ 内容 H 体育理論 (3) ウ	204～205 ページ	1
	第3章のまとめ	内容 H 体育理論 (3) イ 内容 H 体育理論 (3) ウ	206 ページ	1
			合計	88

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-213	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
50・大修館	保体・702	新高等保健体育		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
18～19 ページ	人とのつながりと健康について考えよう	2	保健 内容 (1) ア (ア)	2
22～23 ページ	意思決定・行動選択を実践しよう	2	保健 内容 (1) ア (ア)	2
27 ページ	予防接種の役割 (個人免疫と集団免疫)	2	保健 内容 (1) ア (イ)	0.5
30～31 ページ	リスクとは何かを知り, リスクにどう向き合うか考えよう	2	保健 内容 (1) ア (ウ)	2
38～39 ページ	エネルギー収支と体重管理について考えよう	2	保健 内容 (1) ア (ウ)	2
44～45 ページ	がんと社会について考えよう	2	保健 内容 (1) ア (ウ), 内容の取扱い (1)	2
48～49 ページ	たばこ対策について考えよう	2	保健 内容 (1) ア (エ)	2
58～59 ページ	精神疾患をもっても安心して暮らせる社会を目指そう	2	保健 内容 (1) ア (オ)	2
68～69 ページ	風水害を想定したタイムラインを作成しよう	2	保健 内容 (2) ア (ア)	2
84～85 ページ	思春期における脳と心の発達と自己実現	2	保健 内容 (3) ア (ア)	2
98～99 ページ	誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて	2	保健 内容 (3) ア (ア)	2
106～107 ページ	時代・世代を超えてつながる健康を考えよう	2	保健 内容 (3) ア (ア), 内容 (3) ア (イ)	2
118～119 ページ	自然災害が引き起こす環境や衛生の問題について考えよう	2	保健 内容 (4) ア (ア), 内容の取扱い (8)	2
124～125 ページ	健康食品の上手な活用法について考えよう	2	保健 内容 (4) ア (イ)	2

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
132～133 ページ	「正しい情報」を見極め活用するためのポイントについて考えよう	2	保健 内容 (4) ア (オ)	2
146 ページ	イギリスのパブリックスクールとスポーツ	2	体育 内容 H 体育理論 (1) ア (ア)	1
147 ページ	世界の民族スポーツ	2	体育 内容 H 体育理論 (1) ア (ア)	1
154 ページ	時代とともに変貌するオリンピック	2	体育 内容 H 体育理論 (1) ア (イ)	1
155 ページ	パラリンピックの課題	2	体育 内容 H 体育理論 (1) ア (イ)	1
174 ページ	運動パフォーマンスに対する心理的影響	2	体育 内容 H 体育理論 (2) ア (ウ)	1
175 ページ	運動・スポーツと脳	2	体育 内容 H 体育理論 (2) ア (ウ)	1
178 ページ	状況に応じた行動をするために	2	体育 内容 H 体育理論 (2) ア (ア)	1
179 ページ	動きと力	2	体育 内容 H 体育理論 (2) ア (ア)	1
194 ページ	スポーツ科学の役割について考えてみよう	2	体育 内容 H 体育理論 (3) ア (ア)	1
195 ページ	スポーツに関わる職域と職業	2	体育 内容 H 体育理論 (3) ア (ア)	1
202～203 ページ	世界のスポーツ推進の取り組みと現状	2	体育 内容 H 体育理論 (3) ア (ウ)	2
合計				40.5

(「類型」欄の分類について)

- 1… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容